

冬はすぐそこ 神戸・六甲山小

秋が深まる中、標高795
メートルにある神戸市立六甲山小学
校(同市灘区六甲山町)で24日
午前、児童たちがおこした火
を石造りのストーブにともす
恒例の「火入れ式」があった。

同校では、朝の気温が10度
以下の日にストーブを使用。
神戸地方气象台によるとこの

日、同市中央区にある气象台
の午前7時の気温は16・2度
だったが、同校は9度だった。

式では、4〜6年の児童が
板と木の棒をすりつける方

ストーブに火入れ

法で火種作りに挑戦。約1時
間半かけて炎を燃え上がらせ
ると、大きな歓声が上がった。
6年生5人が火を移したト
チで炉にともした。

6年生の堀川花楓さん(11)
は「火がなかなかつかなくて
諦めかけたけど、自分たちの
手でつけられてよかった」と
涙を浮かべ、花川穂乃香さん
(12)は「手がかじかむような
真冬に、火にあたると心まで
温まる。冬が楽しみ」と笑顔
だった。

(鈴木雅之)



自らおこした火をストーブに移す児童たち。24日
午前、神戸市立六甲山小学校(撮影・風斗雅博)

NEXTに
動画